

マイクロブログの防災利用

名古屋工業大学 岩田研究室 M1 廣田暖貴

キーワード: ビッグデータ, マイクロブログ, テキストマイニング

背景

ビッグデータ

近年の、動画サイト、またはFacebookやTwitterといったマイクロブログの利用者の増加により、パソコンやスマートフォンから、文字だけでなく、音声や写真、動画などのデータが、インターネット上の様々なサーバに蓄積されている。

ビッグデータは、単に大容量であるだけでなく、非定型でかつリアルタイム性が高い。ビッグデータを活用すれば、これまで予想できなかった新たなパターンやルールを発見することができる。

例. Amazonなどのオンラインショップでは、購買履歴やサイト内のアクセス情報などのビッグデータを基に、商品を購入する際に、他のおすすめ商品を表示している。



マイクロブログ

FacebookやTwitter等のマイクロブログの普及は、情報の共有を手軽にし、利用者は各々が別の場所に居ながらにして、リアルタイムなコミュニケーションを可能としている。

防災での活用

マイクロブログの特徴として、災害時でも使用可能であることが挙げられる。実際に、2011年3月11日に発生した東日本大震災において、電話・メールはほとんど役に立たなかったが、Twitterは緊急速報や救援物資要請など大いに役立った。



user@username

[拡散希望] 子どもの幼稚園の先生の親戚が福島県民で、交通手段がなく、避難ができない状況。交通手段がない老人を助ける何かないでしょうか？なんでも情報がありましたら教えて下さい。よろしくお願いします。 #福島 #日本 #避難 #Japan

災害情報の例

期待できる効果

Twitter上にある大量のデータを解析することによって、被災者や救援者にとって有用な情報のみを提供することができる。

クローリング



データ処理



災害情報提供